

あわれにも原則的にけり空されたりある、そして婦人は直ぐの政治
闘争を拒否されて婦人解放はかくて無限の彼方へ押しのけられしやうだ。

(3)

かの山川菊次郎氏の謂分

「^レをこゝ私としては労働婦人は組合に、職業婦人は俸給生活者組合に、主婦
は消費組合に、女学生や娘は学友、青年同盟に、其の他の人々は教育同
盟に、^と、あまよく適當な無産団体の内部に一人ありともよく婦人を参加させ、
其等の内部に於ける婦人の流動と充実に全力をあげることを、現在とし
ては吾々の為し得る唯一の事であり、且つそれを惜みて將來の發展を考へ
ることは不可能であること考へるのである」(大衆九月三十一頁)